

2021 年度監査報告

2021 年度の「NPO 法人日本似顔絵アーティスト協会」の監査内容について、以下の通り報告します。

1. 決算について

各事業及び事務局運営に対する執行状況の収支について、適正に管理され、処理されていることを確認しました。

1. 事業について

コロナ禍の状況の中、オンラインも活用して、色々な企画を開催されています。この点につきましては、大変評価できることと思います。

特に3年振りとなる「似顔絵エキスポ」は、理事の皆さんやボランティア会員のご協力により、無事に開催することができました。豊中市の担当職員の方にも本当にお世話になりました。ただ、コロナ禍ということもあり、前回ほど来客数が伸びなかったことが残念です。

各内容については、工夫され、練られたものとなっていますが、参加者の減少が今後の課題だと感じました。

大きな問題としては、各イベントの収支が赤字になっていることが挙げられます。営利団体ではないので、積極的に利益を追求する必要はないと思いますが、協会の今後の継続的な運営を考えると、この辺りも検討していく必要があると思います。

以上、事業活動および会計処理について、いずれも適正に処理され、問題のないことを報告いたします。

2022 年 6 月 6 日

監事 倉橋 秀和 